

第58回 定時株主総会

平成28年10月28日（金）

市場：東証JASDAQ
証券コード：3441

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー

株式会社 山王

株主のみなさまへお願い



会場内では、
スマートフォン・携帯電話な
ど情報機器の電源をお切りい
ただくか、
マナーモードにしてください。

会場内での
「喫煙」、「撮影」、
「録音」は ご遠慮ください。



入場票のご説明

- ご出席番号票は、株主総会終了までお持ち下さい。
- ご発言の際は、ご出席番号票に記載の番号とお名前をお申し出ください。
- 再入場の際は、ご出席番号票が必要となります。ご出席番号票を受付にてご提示下さい。

開 会

議決権数

平成28年7月31日現在：発行済株式総数

5,000,000株

* 自己株式384,050株含む

本総会において議決権を有する株主数

1,995名

議決権数

46,151個



監査報告

取締役 常勤監査等委員 中村 宏明

▶ 事業報告

1. 企業集団の現況に 関する事項

▶ 事業報告

1. 企業集団の現況に 関する事項

① 事業の経過及びその成果

世界：不透明感が強まる

- ▶ 米国： 好調な雇用情勢など背景に景気回復基調
- ▶ 欧州： 英国のEU離脱問題による雇用、所得への先行き不透明感広がる
- ▶ その他：新興国経済の成長鈍化
資源価格の低迷による資源国経済の変調

+

日本：厳しい状況

雇用環境が堅調に推移したが、

- ▶ 個人消費には依然として停滞感
- ▶ 不安定な海外情勢を背景とした株安や急激な円高の進行
- ▶ 直近の企業収益にも不透明感

① 事業の経過及びその成果

当社グループが属する電子工業界
総じて厳しい事業環境

- ▶ 企業間競争が激しさを増す
- ▶ I T 機器市場の成熟化で
(スマートフォン・タブレット P C 等)
製品価格は下落傾向

① 事業の経過及びその成果

当社グループの取り組み

大幅な受注減少に対応、収益改善活動を行う

- ▶ 歩留まりの改善
- ▶ 生産性向上
- ▶ 経費削減等

第3四半期以降 収益性が改善

第4四半期 営業利益を確保

① 事業の経過及びその成果

売上高

6,406百万円

(前連結会計年度比 $\triangle 14.9\%$)

営業利益

$\triangle 394$ 百万円

(前連結会計年度： $\triangle 455$ 百万円)

経常利益

$\triangle 476$ 百万円

(同上： $\triangle 415$ 百万円)

親会社株主帰属
当期純利益

$\triangle 555$ 百万円

(同上： $\triangle 1,452$ 百万円)

1. 企業集団の現況に関する事項

3 ページ

- ② 設備投資の状況
- ③ 資金調達の状況

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 13



(4) 対応すべき課題

(4) 対処すべき課題

当社グループの基本理念

「表面処理で社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、便利な社会の実現に貢献する」

+

創業来培った表面処理加工業のノウハウ活かし、
お客様のご要望に対応、存在価値を高める

持続的な利益ある成長を果たしていくために

- ① 品質管理強化と顧客満足度の向上
- ② 効率的組織体制と新技術の導入による収益力向上
- ③ 新規事業の創出と推進
- ④ コーポレートガバナンスの充実

(4) 対処すべき課題

① 品質管理強化と顧客満足度の向上

電子機器の小型・高機能化で部品形状・加工仕様が変化
品質管理の重要度が益々高まり、業績への影響度合も増加

各生産拠点で、新設備の導入、
工程の改善、先行予防的な品質管理の強化

徹底的な品質改善

顧客満足度の向上

受注機会の拡大、製造コストの改善

(4) 対処すべき課題

② 効率的組織体制と新技術の導入による 収益力向上

活力ある効率的組織体制を整備

役職の見直し、若手社員の積極的な登用

生産性の更なる向上と経費削減

+

新技術の導入による差別化

収益力の強化

(4) 対処すべき課題

③ 新規事業の創出と推進

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
「被災地企業のシーズ支援プログラム」
(平成28年4月再採択)

当社の培ってきた技術の応用による新規事業開発

「水素透過膜」

「銀めっきアクリル粒子」

再生可能エネルギー分野への貢献

展示会への積極的な出展

早期事業化を図る

(4) 対処すべき課題

④ コーポレートガバナンスの充実

**第57回定時株主総会で定款を一部変更
「監査等委員会設置会社」へ移行**

+

**コーポレートガバナンス・コードの
すべての基本原則を遵守**

経営の公正性・透明性・迅速性を確保



より実効性の高いコーポレートガバナンスの確立

(4) 対処すべき課題

継続企業の前提に関する注記の不記載について

継続的な営業損失の状況続くが、
品質管理強化策、コスト削減等で
当期第3四半期以降、売上原価率が大幅に改善

来期、上記諸施策等で収益力を改善し
黒字回復を実現できる見込み

継続企業の前提に関する
重要な不確実性は認められないと判断

今後とも変わらぬ
ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

1. 企業集団の現況に関する事項

4～7ページ

- (2) 財産及び損益の状況の推移
- (3) 重要な親会社及び子会社の状況
- (5) 主要な事業内容
- (6) 主要な営業所及び工場
- (7) 使用人の状況
- (8) 主要な借入先の状況
- (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 22

2. 会社の現況

8～18ページ

- (1) 会社の株式に関する事項
- (2) 会社の新株予約権等に関する事項
- (3) 会社役員に関する事項
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制
及び運用状況の概要

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 23

▶ 第58期連結計算書類の 内容報告の件

貸借対照表（連結）①（資産・負債・純資産）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
流動資産	6,008	流動負債	2,773
固定資産	2,510	固定負債	908
有形固定資産	1,847	負債合計	3,681
無形固定資産	26	純資産合計	4,837
投資その他の資産	637		
資産合計	8,519	負債・純資産合計	8,519

（平成28年7月31日現在）

貸借対照表（連結）②（純資産）

（単位：百万円）

科目	金額
株主資本	4,174
資本金	962
資本剰余金	870
利益剰余金	2,466
自己株式	△125
その他の包括利益累計額	663
その他有価証券評価差額金	133
為替換算調整勘定	527
退職給付に係る調整累計額	2
純資産合計	4,837

（平成28年7月31日現在）

損益計算書（連結）

（単位：百万円）

科目	金額
売上高	6,406
営業利益	△394
経常利益	△476
税金等調整前当期純利益	△526
法人税等＋法人税等調整額	28
親会社株主に帰属する 当期純利益	△555

（平成27年8月1日から平成28年7月31日まで）

連結株主資本等変動計算書

21ページをご覧ください。

お手許の招集ご通知をご覧ください 28

第58期計算書類（単体）

22～24ページをご覧ください。

お手許の招集ご通知をご覧ください 29

▶ 決算の状況と今後の方向性

平成28年7月期決算総括

前期比15%減収だが4Qから持ち直す

- ・ 期初から事業再構築につとめた結果、4Qから業績回復の兆し

事業の状況

上半期： 前期下半期同様、受注低迷が続く。
収益体質強化・生産体制改革を実施
→ 黒字化する企業体質づくりに専念

下半期： 3Qから原価低減
4Qから需要急回復
→ スマホ向け需要が拡大

平成29年7月期見通しについて：

足元の事業環境

民生・スマホメーカー向けは相変わらず順調、
フル生産体制継続。

車載向けも好調で、ライン改造進む

今期の事業に対する見方

前期4Qの回復基調が持続して推移
生産ラインの対応をすすめ、受注拡大に

各拠点で強化対策の効果により
収益改善・黒字化を見込む

平成29年7月期 業績見通し

- ▶ 売上高 : 足元の堅調な受注傾向続き、増収へ
- ▶ 営業利益 : 新規受注の獲得により、増収・黒字化へ
- ▶ 当期損益 : 特損見込まず

(単位 : 百万円)

	H28/7	H29/7	前期比	実績差異
売上高	6,406	6,600	+ 3.0%	+ 193
営業利益	△394	125	—	+ 519
経常利益	△476	95	—	+ 571
親会社帰属 当期純利益	△555	65	—	+ 620

山王のミッションとビジョン

**山王グループは表面処理で社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、便利な社会の実現に貢献します**

①携帯、スマートフォンが人々の暮らしを変える

山王の表面処理技術は人の生活を豊かにする仕事

②ウェアラブル端末、ゲーム機、遊技機が人々を笑顔にする

山王の表面処理技術は人の心を楽しませる仕事

③自動車エアバッグ、衝突安全装置が人々の安全を守る

山王の表面処理技術は人の命を預かる仕事

営業強化の状況：持続かつ継続的に見直し

- **新規顧客・アイテム獲得のため、
車載関連専門商社とコンタクトを継続強化**
展示会へ出展、従来にない新規顧客候補へP R
市場二ーズの深耕と技術対応力の強化
- **新規案件獲得に向けた試作・対応力の強化**
新規案件への試作・顧客対応を強化
顧客の開発サイドとのコンタクトを強化し、求める技術課題に
迅速対応が可能な体制に変革
- **成長市場及び新市場への戦略的展開**
新たな技術展開と積極的な設備投資による成長市場への参入
- **マーケティング分析の実施**
対応力の検証と将来戦術の検討

組織改革：モチベーションを向上しE Sを強化

1. 組織の活性化：各事業部門で世代交代

品質保証部・技術部を中心に、担当部長若返り
他方、ベテラン社員は専門性・経験を組織に伝授

+

2. 人材への積極投資

事業基盤の整備とともに社内制度の見直し
ES（従業員満足）の観点から人材投資を積極化
（例）グループ全体での提案制度・表彰の継続展開

▶ 新規事業について

中長期：山王グループが貢献するフィールド展開

めっき技術 = 山王の「DNA」

既存事業

新規事業

産業機器関連
(IOT)

高機能
めっき

銀めっき
アクリル粒子

+

車載関連

水素
透過膜

タブレット
スマホ
民生品

ウェアラブル端末
Wifi通信設備

順調に進む産総研との共同研究

めっきで培われた当社の「貴金属表面処理加工技術」を応用

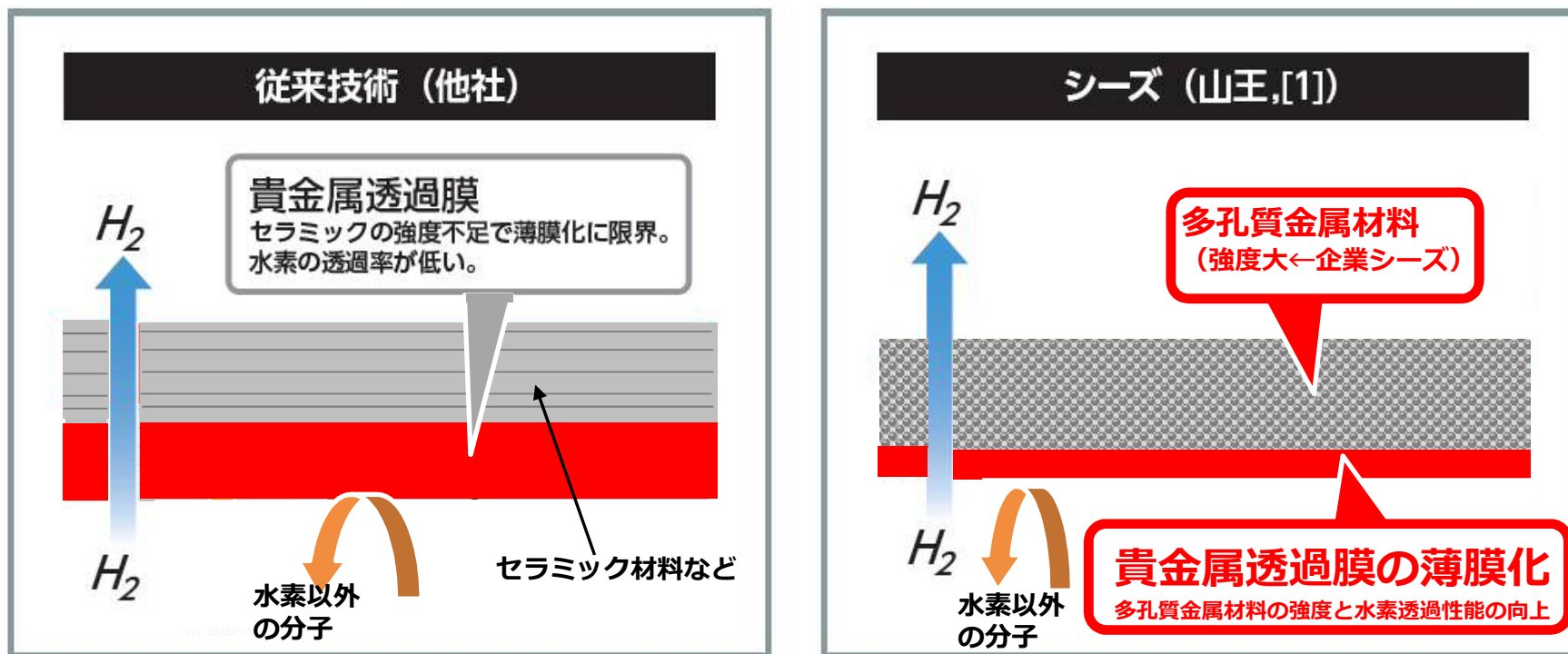
国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
「被災地企業のシーズ支援プログラム」
(平成28年4月再採択)

- ・水素透過膜(高性能・低コストな金属複合膜)の開発
膜ユニットの開発、水素製造装置への展開
- ・銀めっきアクリル粒子の実用化
(無電解Agめっきアクリル樹脂粒子を活用した配線形成技術、
電子部材に大きな可能性)

「実用化フェーズ」へ
製品化にむけた試験を順調に実施中

①高性能・高効率な「水素透過膜」

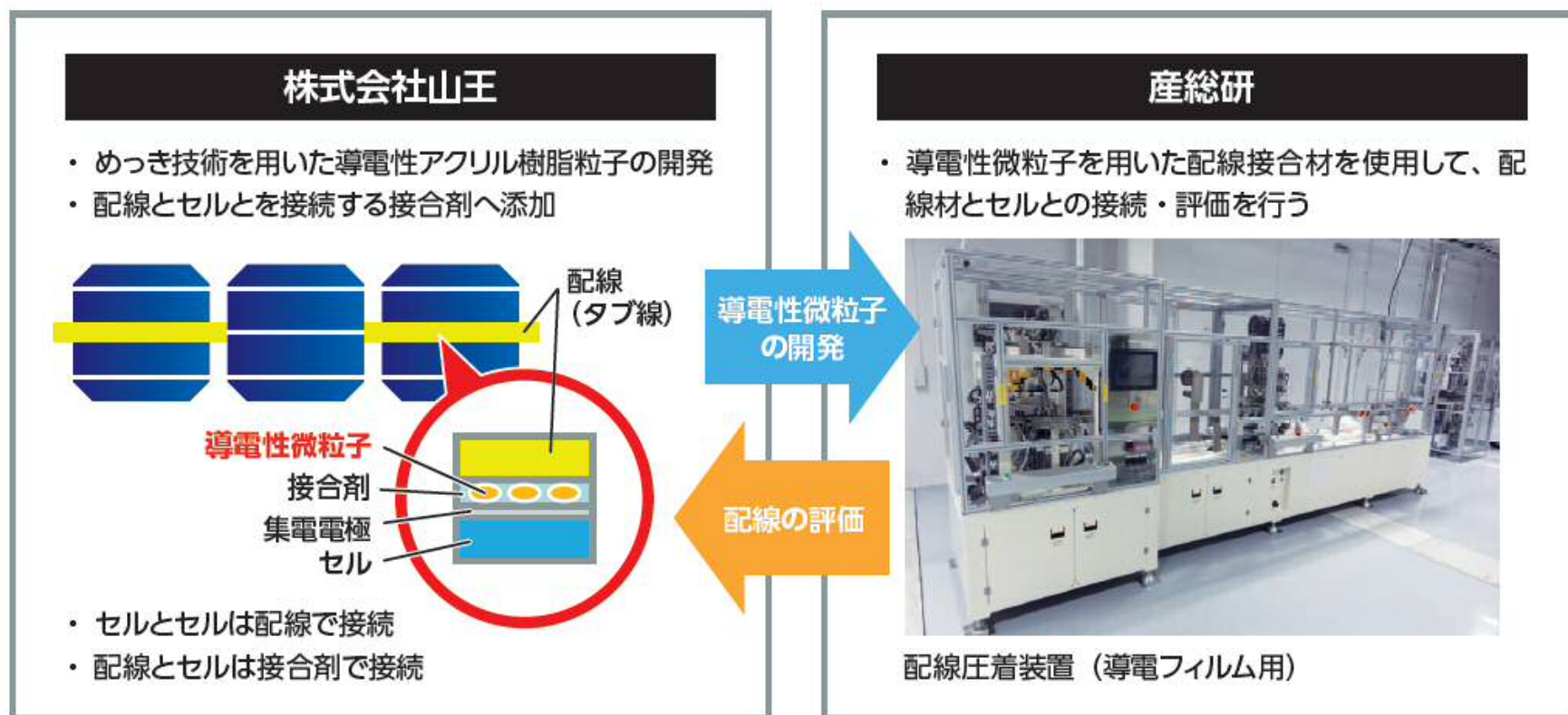
特許取得、助成金の支援を頂き開発を加速



「山王の高性能で低コストな金属複合水素透過膜」は、
インフラへの適用だけでなく、**燃料電池自動車への搭載も可能。**
水素社会実現に向け当社のめっき技術が貢献。

②銀めっきアクリル粒子（太陽電池の薄膜化など）

「銀めっきアクリル樹脂粒子」の引き合いが多く、 引き続き試作依頼への対応、早期事業化を模索



実現
すると

- ・ 薄く軽く熱に強く、半田接合がないので熱割れもしない
- ・ 接続相手の電極材料との相性も良く、軽くて安価
- ・ 低抵抗を実現し電気ロスを低減

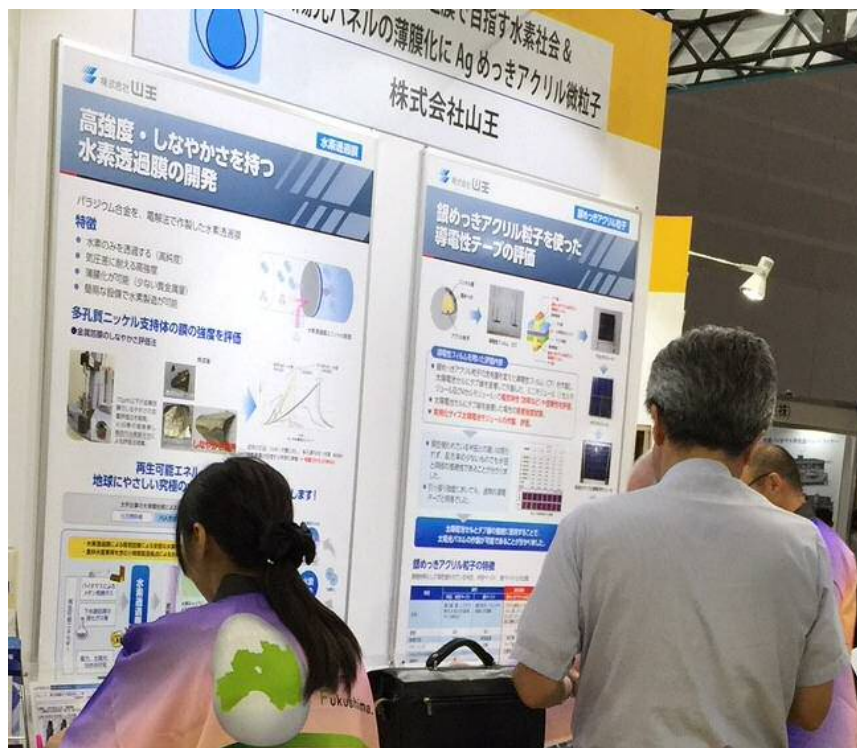
今年も再生可能エネルギー展示会に出展

第11回 再生可能エネルギー世界展示会

パシフィコ横浜 2016年6月～7月

産総研 福島再生可能エネルギー研究所及び福島県と共同出展

既存事業のPRも含め情報発信と市場情報の収集を行う



配当政策について

▶ 平成28年7月期： 無配（予定）

4 Qに反転の兆しが見えるなど
下半期、事業改革・組織体質強化に一定の成果
＋
設備更新・能力増強など
将来の成長へ向けた投資資金確保を最優先

▶ 平成29年7月期： 無配（予定）

収益力回復が軌道に乗り次第、株主還元も検討



決議事項

議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件

1 こうやま ふみなり
 甲山 文成

当社取締役会長（現任）

3 みうら ひさし
 三浦 尚

当社常務取締役（現任）

2 すずき けいじ
 鈴木 啓治

当社代表取締役社長（現任）

4 てるい ひでき
 照井 英樹

当社取締役（現任）

5 あらまき たくや
 荒巻 拓也

当社取締役（現任）



ご発言・ご質問

お願い

- **ご出席番号票とお名前**をお知らせください。
- なるべく多くの株主様から
ご質問をいただきたく、関連質問も含めて
お一人様 3 問までのご質問で
お願い致します。



議案採決

決議事項議案

議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。） 5名選任の件

閉 会

取締役のご紹介

第58回 定時株主総会

ありがとうございました。

これからも株式会社山王を引き続きご支援賜ります
ようお願い申し上げます。

市場：東証JASDAQ
証券コード：3441

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー

株式会社 山王